



行ってきます！大槌のアンバサダーたち

3月13日（金）から3月21日（土）の9日間、町内の中高生5人と引率者3人でフォートブラッグ市へ飛び立ちます。

大槌学園 8年生
平野 楓歩 さん



フォートブラッグ市から交流生を受け入れたとき、「日本の文化に触れることができ感動した」と言ってくれて、今度は相手の国について知りたくなりました。

他国の文化を学び、自分から英語を話して海外の人と交流を深めてきたいです。

釜石高校 1年生
芳賀 克 さん



現地での生活や人との関わりを通して、日本とは違う文化や考え方を学んでいきたいです。

英語で自分の気持ちを伝えることにも積極的に挑戦し、その経験を学校生活や地域の活動に生かしていきたいです。

吉里吉里学園 8年生
佐野 和希 さん



現地の人たちと直接関わることで、多様な考え方や価値観に触れたいです。

英語での会話にも積極的に挑戦し、日本の文化や魅力を自分で伝えて、交流の輪を広げられるように頑張ります。

学んだ事を学校や地域に伝え、新しいことに挑戦する気持ちを大切にしていきたいです。

釜石高校 2年生
高木 遼平 さん



これまでフォートブラッグ市の生徒が大槌町を訪れ、たくさんの学びと出会いがありました。今回は私たちが現地へ行く番です。新しい価値観に触れ、自分自身の視野を広げることで、大槌町とのつながりを学びたいです。また積極的に会話や体験を楽しみ、「もう一度行きたい」と思えるような交流を目指します。

大槌高校 2年生
小松 空 さん



以前派遣できてくれた生徒とも交流を深めながら、さらに多くの友達をつくりたいです。一昨年はアメリカの文化や習慣を聞いて驚くことがたくさんありました。まだ知らない分野について、知識を増やしていきたいです。

日本とは異なる価値観や習慣に目を向け、将来「海外で働く」という夢につながられるように頑張ります。

地域で支える新たな一歩



大槌町国際交流協会 会長
臺 隆明 さん

当協会は、東日本大震災やコロナ禍の影響で一時休止状態にありましたが、姉妹都市交流などを円滑に再開・継続するため、運営体制の見直しを行いました。協会運営へのご協力で心から感謝しています。

姉妹都市生徒間交流は平成13年に始まり、これまで国際的な視野を広げてきました。

今後も継続して「大槌の宝っこ」たちを温かく見守り、さらに充実した交流活動を展開していきます。

当協会では新たな会員を募集中です。国際交流を通じた町づくりに、皆さまのご協力をお願いします。

派遣生ヘエール



大槌町国際交流協会 前会長
内金崎 みつ子 さん

私が姉妹都市生徒間交流に携わることになったのは、第17回全国豊かな海づくり大会の通訳を経験したのがきっかけです。

仕事上、英語には常に触れてきたことで、特につらいと感じたことはなく、国際交流協会会長として楽しく活動できました。

派遣生の皆さんには、肩の力を抜いて、現地のオープンな雰囲気や溶け込んでほしいです。

文化や価値観の違いを体験し、成長した皆さんの帰国をお待ちしています。

旅の伴走者として

一般社団法人 おらが大槌夢広場
代表理事 神谷 未生 さん



初めて海外（アメリカ）に触れたのは、中学1年生の時でした。言葉も通じず、文化も価値観も違う環境で、多様な人種や生き方に向き合ったことで、自分の世界が一瞬にして広がっていった感覚を今でも覚えています。

その体験は私の原点であり、移住者として、この町の豊かさを感じながら楽しく暮らしていることにつながっています。現地では、派遣生の安全確保に最善を尽くし、一人一人の「やってみよう」という気持ちを後押しできるようなサポートをしていきます。

町長メッセージ

姉妹都市提携20周年を迎えて

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

令和7年で、大槌町とフォートブラッグ市が姉妹都市提携をしてから、20周年を迎えました。姉妹都市生徒間交流では、平成13年度の開始から今日に至るまで、国境を越えた深い友情と親交を育んでまいりました。

しかし、東日本大震災の発生や新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、二度の交流中断を余儀なくされました。

そのような状況下でも、フォートブラッグ市への熱い思いは変わらず、何度も交流を再開させ、これまでに延べ94人を派遣してまいりました。

そして今年、来る3月13日から21日の9日間、新たに5人の中高生を現地へ派遣いたします。これからも、次代を担う若者たちが異文化に触れ、広い視野を養い、町の未来を創っていく人材を育成していきます。

結びに、震災時に多大なご支援をいただきましたこと、今日まで交流を継続できたことに、フォートブラッグ市の皆さまをはじめ関係者の皆さまへ心より感謝申し上げます。

今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

大槌町長 平野 公三



あの日、世界が変わった



令和5年度派遣生
矢作 梨 さん
(はま留学2期生)

フォートブラッグ市での生活は、毎日が初めてのことであった。

とにかく自由で、文化や習慣もみんなそれぞれ。ドラマでしか見たことのない学校生活を送りました。

これまで当たり前にしてきたことが全てではないことを学び、そのギャップを知ることに充実感を覚えました。

フォートブラッグ市での生活で得た「知ること」の楽しさを今でも大切にしています。



令和6年
フォートブラッグ市
で交流

親子でつながる絆



ホストファミリー 阿部 幸子 さんご家族

平成14年の第1期ホームステイ交流に次女、第3期ホームステイ交流に三女が訪問し、アメリカの文化に触れる貴重な経験をさせていただきました。

フォートブラッグ市との関わりは、何にも代え難い私たちの大切な財産です。

2人の娘は「もう一度行きたい」と卒業後に訪問し、当時のメロー市長さんをはじめロードンさん宅へ3カ月間お世話になりました。

ホストファミリーとして、これまで交流生や個人的に来町した子どもたちを10人迎え入れ、そして今回は孫が訪問します。

親の代・孫の代と長きにわたって交流が続くよう「架け橋」となっていきたいです。

派遣経験から今に生きていること

平成16年度派遣生
高橋 宏明 さん

居住地：大槌町 勤務地：釜石市

相づちやリアクションをとりながら、相手の話を意識的によく聞くようになりました。相手が話しやすい雰囲気をつくることは、これまで経験した仕事に活かされています。

そして、英語が前よりも好きになりました。フォートブラッグ市での経験は、自分自身の成長につながっています。

平成15年度派遣生
東梅 麻奈 さん

居住地：大槌町 勤務地：釜石市

人の優しさは、巡りながら次の優しさを生むことを教えてくれました。それは、人との関わり方や一歩踏み出す勇気につながっています。

2月にフォートブラッグ市を再訪し、大切な友人と穏やかな時間を過ごしました。

あの時芽生えたご縁をこれからも大切につないでいきたいです。

